

よう目指していただきたいと思う。

入居率の増加について、どのような目標を持っているのか伺う。

〔答弁〕入居率の増加については、毎月市の広報誌に募集記事を掲載しているほか、市のホームページ、掲示板等で周知を図っており、住宅管理を委託している民間会社においてもホームページ等でPRをしていただいている。

具体的な数値目標は定めていないが、引き続き入居率の増加に向けて、委託先の民間会社とも連携をとりながら取り組んでいきたいと考えている。

教育費

〔質疑〕図書館運営状況について、貸出者数が過去3年を調べると、平成26年度には約2万9千人いたものから、平成29年度は約2万4千500人まで減り、貸出資料も平成26年度には約13万7千500冊あったものが、平成29年度は約10万4千700冊と、こちらも徐々に減ってきている。

図書館利用が減少している現状をどのように把握しているのか伺う。

〔答弁〕図書館利用状況については、年々少なくなってきたが、これは人口減少により子ども数が少なくなっており、多く利用していただいている白石第一小学校の児童もだんだん減ってきていることが考えられる。

活字離れも進んできていることから、今後、乳児の保護者に絵本を差し上げるブックスタート事業など、いろいろな形で改善を進めていきたいと考えている。

〔質疑〕学校給食センター運営状況における地産地消の促進について、地元食材を積極的に活用と記載されているが、具体的にどのように努力されているのか伺う。

〔答弁〕地産地消の促進については、白石産の米、チンゲンサイ、ネギ、白石温麺といった品目について学校給食で提供をしている。



決算審査特別委員会の現地調査(左:こじゅうろうキッズランド 右:みやぎ蔵王白石スキー場)

特別会計

〔質疑〕特定健康診査の受診率であるが、国民健康保険データベースによると越河、大鷹沢、白川地区がほかの地区に比べて高く、一方で白石、斎川地区が低いというデータが出ている。

この件について、何か実施方法あるいは場所等に問題があるのか伺う。

〔答弁〕特定健康診査については、福岡地区以外は各地区とも公民館1カ所で行っており、公民館ごとの立地条件や建物のレイアウトの違いによる差はあるが、それ以外は基本的に同じ実施方法で行なっている。

また、中央公民館では、延べ8日間、全地区の住民を対象に実施しており、土曜日と夜間にも健診日を設け、受診機会を増やすようにしている。

ご指摘の地域の差については、今年度、各自治会からご推薦いただいている保健事業推進員とともに、各地区ごとの

強み、弱みなどを把握し、今後の事業に生かそうということとで、7月に1回目の研修と会議を行なっている。

また、10月にも同様に集まっていたとき、分析をするなどして受診率向上の対策を行なっていく予定である。

〔質疑〕人間ドックについては、受診による早期発見・早期治療が基本であると考えられる。人間ドック助成のあり方をもっとPRしていくべきと思うが、所見を伺う。

〔答弁〕人間ドックのPRについては、広報等で周知しているほか、特定健康診査の受診券発送の際にも通知を入れており、各種がん検診等の通知の際にもチラシなどを入れて広報している。

また、刈田総合病院に人間ドックの問い合わせがあった場合、本市の国民健康保険の方については、病院側で人間ドック助成を受けていただく旨の助言をしていたときPRに努めている。